

人が集まる催しや露店での火の取扱いの注意点

1 ガスコンロ等の取扱いについて

- (1) 火災予防のため、周りの物から十分な距離をとりましょう。
- (2) 可燃性のガスや蒸気が溜まりにくい場所で使用しましょう。
- (3) 地震の際、燃えやすい物が転倒落下しないよう対策しましょう。
- (4) 不燃性の床や台の上で使用しましょう。
- (5) 故障したり破損したコンロ等を使用しないでください。
- (6) 使用方法等を確認し、誤った使用をしないでください。
- (7) 専用の燃料以外の燃料を使用しないでください。
- (8) コンロ等の周りは常に整理整頓し、燃料やその他の燃えやすい物を置かないようにしましょう。
- (9) ガス漏れがないことを確認してから点火しましょう。
- (10) カセットコンロを2台以上並べて使用しないでください。
- (11) 消火器を準備しましょう。イベントや露店では業務用消火器を設置しましょう。
- (12) ゴムホース等は器具との接続部分をホースバンド等で締め付け、適正な長さで取り付けましょう。また、ひび割れ等の劣化がないか点検しましょう。
- (13) ガスボンベは直射日光の当たらない通気性の良い場所に設置し、転倒しないようしっかりと固定しましょう。
- (14) ストープを使用する場合は、地震等により自動的に消火する装置や自動的に燃料の供給を停止する装置を設けたものを使用しましょう。



2 発電機等の使用について

- (1) ガソリンは消防法で定められた金属製の容器で持ち運びましょう。
- (2) 燃料を給油する時は、エンジンを停止し、ガソリン容器の圧力を抜いてから給油しましょう。
- (3) ガソリン容器は、火気等から離れた、日光の当たらない通気性の良い場所で保管しましょう。

3 照明器具の使用について

- (1) 照明器具はランプ部分が高温となるため、燃えやすい物から離して使用しましょう。
- (2) 電球をしっかりと接続して、配線が露出しないよう被覆して使用しましょう。
- (3) 照明器具や配線は、ぐらついたり、落ちたりしないようしっかりと取り付けましょう。

上記の内容に不備があり、火災の予防に危険である場合は、
使用の停止を求めることがあります。

カセットコンロの取扱いと不燃性の床・台について

1 カセットコンロの取扱いについて



カセットコンロには、カセットボンベ容器カバーを覆うような大きな鍋や鉄板などの調理器具を使用しないでください。

カセットボンベ容器カバーが覆われると、カセットコンロに熱がこもり、カセットボンベが加熱され、爆発することがあります。

カセットコンロは、2台以上並べて使用しないでください。

鉄板などにより、カセットボンベ容器カバーが覆われると、鉄板からの放射熱とカセットコンロの燃焼熱により、カセットボンベが加熱され、爆発することがあります。



2 不燃性の床・台について

火気使用器具等は、不燃性の床・台の上で使用してください。

ここでいう『不燃性』とは、

①金属以外の不燃材料を使用してください。（金属は熱伝導率が高いので、使用に適しません。）

②火気使用器具等の下全面に、隙間なく敷き詰めるようにしてください。

③不燃材料の例としては、以下のものになります。

- | | |
|--------------------|--------|
| ○石膏ボード | 12mm以上 |
| ○ブロック、レンガ | |
| ○ケイ酸カルシウム板（ケイカル板） | 5mm以上 |
| ○フレキシブルボード（フレキボード） | 5mm以上 |
| ○ガラス繊維混入セメント板 | 3mm以上 |
| ○陶磁器質タイル、繊維強化セメント板 | |

